

---

## 2年連続で最高賞受賞の快挙！ 同ゼミ所属の大学院生が若手注目アートコンペティションでグランプリ

---

東北芸術工科大学(山形市上桜田／学長 中山ダイスケ)では、大学院修士課程1年の齋藤大さんが、若手から中堅アーティストに注目を集める新進作家の登竜門となるアートコンペティション「FACE2025」において、グランプリを受賞しました。

また、昨年度は次代を担う若手作家の美術賞「Idemitsu Art Award 2023」で大学院修士課程2年の高橋侑子さんがグランプリを受賞しています。この2名は同じゼミ(木原正徳教授ゼミ)に所属しており、同ゼミから2年連続で最高賞のグランプリを受賞する快挙となりました。

### ■受賞概要

#### 【2024年度「FACE 2025」グランプリ】

- ・応募総数：1312点
- ・本学の受賞者数：齋藤 大 (大学院修士課程1年)
- ・作品：「キャンプファイヤ」(<https://www.sompo-museum.org/news/2024/1115/>)

2024年で13回目となる現代絵画のコンクール展。「年齢・所属を問わない新進作家の登竜門」として、全国より応募された作品から入選・受賞した作品を展示している。グランプリには副賞として300万円が授与される。「FACE展2025」は2025年3月に開催予定。

#### 【2023年度「Idemitsu Art Award 2023」グランプリ】

- ・応募総数：617名 831点
- ・本学の受賞者：高橋侑子 (大学院修士課程2年※受賞時1年)
- ・作品：「室内のリズム」(<https://www.idemitsu.com/jp/fun/art/2023/winners.html>)

2024年で53回目の開催を迎える公募制の美術賞(1956年にシェル美術賞として創設され、2022年にIdemitsu Art Awardに改称)。40歳以下を対象とし、次代を担う若手作家のための美術賞で現在では「若手作家の登竜門」として美術界で高い評価を得ている。グランプリには副賞として300万円が授与される。